

【刊夕】日五月三



原五稅郵 錢十五月一 錢貳金部一
錢十五行一 詰字三十號五 料告廣
治 文 崎 川 人 刷 印 人 輯 編 行 發
五三町橋長町平郡城石縣局福
番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
社會式株刷印日每警常 所刷印

雜記 (二)

池上富司

さてプロレタリアの作品を見るに、それが古今集に共通した所のあるのを見受ける、その作品を次に對比して見ると、古今の年のうちに春は来にけり一年を去年とやいはむ今年とや云はむと所謂、プロ短歌と云ふこの青田も本年の春には電車線路だまたぞろ一枚田をうばひやがるとが、どうですよく似てゐるではありませんか、理智な概念ばかりで歌ひ流す所瓜二つであり、それがまた農民を歌つたと云ふだけで廣張され、美化されて、作品と作者と切りはなれたものがはつきりとして居て、しかも農民の氣持は、こんなに淺ばくなものではない筈だ、いくら言葉だけ荒げても、古今以後のだからした三十一文字調の歌と同一だ、型式破棄の爲めの言語の亂暴もいゝだらう、が、そこに新しい心がほしい目的意識よし、階級意識よし

が、しかしもつとそれを深刻化しろ、言語や型式ばかりでは駄目だ。底に思想を流せ、藝術運動はここにその眞價を認めるのだ。

100%の熱情を持つて居るならば藝術などやつて居ないだらうと云つた人があつた、それにまた、100%の熱情だから實際運動をやると云ふのか、50%だから藝術をやると云ふのか、だから馬鹿にされるのだ假りに運動に入つてナツプの封筒書やピラ貼りをやる實踐よりは、自分の得手な、プロ藝術を作る方が有効ではないかと云ふ古人は少々フザケて居るが前者よりはまたすくはれると思ふ。

藝術家には藝術家の仕事があり、實踐には又それらの仕事があるのだ。兩者は別々の道を行く様であつても遂には一に歸する兩道を歩むかに見えても、必ずどちらかにかたむいて居る、心的には兩者は一にして、型的には、兩者は大衆の手を経て、はじめて握手されるのだ。下手な概念歌を作り、やれ實踐などと云つて居る奴等は藝術を毒するものだ



思ひ出の友 (その四) (定ちやん)

定ちやんの八年ぶりなこの賀状は小さい頃の手跡がまだ匂つてゐる
定ちやんと一緒につんだ柿の花を落した柿はもう枯れてゐる
大きくなつた定ちやんを想つて見るがやつぱり八年前の姿のみ想はれて
終業式に共に優等をもらつて二人がかへつた明るい歩道が目によみがえる

雀と冬芽

島田忠夫

枯木の雀が
ふくれる
枯木の雀が
ふくれる
枯木の冬芽が
ふくれる

第卅三回 産婆看護婦 生徒募集

一 卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ケ年
一 入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上ノ學力有ル者へ無試験入學ヲ許ス
一 申込期日 四月八日迄

平町一丁目 (電話三五七番)

石城 産婆看護婦 學校
校長 鷹崎千代

レコード破りの石炭大廉賣

磐城炭礦 正味十貫匁 一俵金卅錢也
二等炭

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度破格の格安石炭を販賣開始致します
値が安くとも品は悪くはありません
配達は一俵より致します

電話二二七番へ

阿部石炭商店

産婆開業

私事三井礦山株式會社湯本礦業所に開業致して居りましたが今般左記の所に轉居開業致しました何卒御引立を御願申上げます

安全に
努力ませう

産婆 白石テル
(呼)電話六五三番

磐城共濟病院案内

本院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通低減致候間御参考迄申上候

入院料 一日 (一般) 金貳圓也
(本會員) 金壹圓五拾錢

往診料 院長及其他の一般 金參圓也
博士に限り 本會員 金貳圓也
(平町内)

尙地方往診も之に應じ低減致候間此段申添候

(各科専門) (醫擔當)

内科 小兒科
外科 皮膚泌尿科 整形外科 內臟外科
産婦人科 女子泌尿科
耳鼻咽喉科
X光線科
物理學的診療科

院長 醫學博士 難波 睦
本院主 管 賀澤 忠治

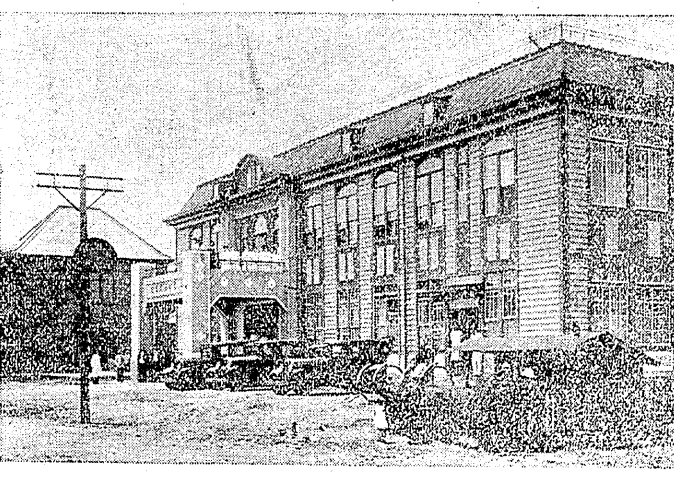
一、衛生試驗所
一、救氣相談所
一、治療所

共濟病院内

昭和五年九月

磐城共濟會
平町 電話六四一番

看護婦募集



聯合女子青年講演會

來る七日平第二校て

高島平二郎氏を招聘

石城郡下聯合中堅女子青年團では來る七日午前十時より平町第二小學校で講演會を開き東洋大學講師高島平二郎氏の講演がある。尚終つて直ちに平局の共電式電話の交換を見學する筈

第三十一回 磐中卒業生

縣立磐城中學校第三十一回卒業式は既記の如く來る七日午前十時より同校講堂において舉行するが今年卒業生は左の百八十九名である (イロハ順)

- 磯上正 市村三郎 飯島正秋 飯島茂男 岩切英男 岩並勳 岩田徳二 箱崎宗行 長谷川芳太郎 萩原節夫 新妻朝夫 新妻西文 仁平武夫 西山道也 堀清 堀一正 星野陽造 星恒雄 富岡七郎 戸倉重祐 豊田満 小野彌久 小野弘 小川信夫 萩原一 若松茂彌 若松正 和田寅雄 加藤友常 加藤武久 櫻村孝之 金澤正重 河村雅雄 河本文夫 片岡育造 菅野三郎 片寄辰雄 吉田豊一 吉田利徳 吉田源太郎 吉田一 吉田茂 吉江雅夫 横内直中 高橋留吉 高橋正雄 高橋康郎 高橋三郎 高木楠 教 丹野環 橋光二 田

- 口元勝 瀧正照 高野吉男 田山親 塚本二郎 永井正次 永山孝長 永山孝 中島勇 中村末光 中柴新 中川國男 中谷直人 仲野正雄 永野宣夫 村山浩一 宇野鐵雄 植田武 猪狩弘 猪狩弘 野木正夫 大平民雄 大平國衛 大平尚行 大平五郎 大形新一 大河原茂夫 大友健壽 大嶺平八郎 大橋秀夫 草野勝 草野政嗣 草野壬子雄 草野源正 草野希次 草野勝雄 草野道雄 草野良夫 栗城富士夫 栗城不二 楠正光 黒澤保 日下武雄 熊坂太郎 保田保一 山崎省吾 安川康正 矢吹好男 矢吹大一郎 矢吹茂 山岸長太郎 山野邊治雄 山名隆柳内文一 馬目善將 馬目俊次 松本正夫 前松武 船生修平 藤田正義 藤田省三 福島利雄 小松正二 小松守男 小島東一郎 小坂直一 小畑二三雄 小下仁左門門 小林榮吉 小港正 江尻三郎 江口軍二 江連正 兒 海老根三郎 海老根直人 寺門勝男 阿部恒夫 阿部傳 阿部宏 秋山清之助 西丸靱負 齋藤三郎 齋藤利良 齋藤富次 齋藤正雄 齋藤定輔 酒井喜七 酒井定雄

- 酒井精一 佐藤泰二 佐藤禎太郎 佐藤茂 佐藤永 佐藤弘 佐藤政次 佐藤芳雄 佐々木正康 佐々木一榮 佐久間敏郎 三邊武右門 佐川康平 坂田正利 佐分利六郎 木村敏治 木田茂正 三谷詮章 白土兵衛 白土二郎 志賀哉 志賀政一 重久正彦 柴田久壽 遠藤千勝 遠藤康夫 蛭田政博 蛭田正夫 蛭田一 廣木允明 森大應 門馬雄三郎 關定藏 鈴木政雄 鈴木功 鈴木正平 鈴木志郎 鈴木雄四郎 鈴木次男 鈴木武夫 鈴木徳壽 鈴木英 鈴木己喜夫 鈴木治 鈴木富士郎 鈴木正 鈴木甲子男 菅波茂 砂田小録 杉山弘道

大倉自力會

支部合同

功勞者表彰

石城郡好間村大字無煙炭礦建國勞働自力會では今回支部を合同して一丸となし來る八日午前九時から同村大會劇場で合同最初の臨時總會を開き同會功勞者の表彰式を舉行する

高久同志會

田村局長講演

石城郡高久村小學校同志會では昨四日午前九時より同校内に總集會を開催平郵便局長外一名の講演と浪花節の餘興あつた

浮世繪

たと同じやうですが、浮世繪版畫の複雑なりて外國藝術に多大の影響を及ぼしてゐる。浮世繪は貴族といふ味が出て來ました。菱川師宣が版畫の開き、祖となりて、遂に錦でこれほど外國人に影響の少いものは、安土桃山を經、徳川に入りて完成され、期に入つて完成され、然かも版畫つた他の藝術が從來た最も偉大なるもので、又最も日本味の藝術で恰も繪巻物が、使命を果したので、響及ぼさず、却つて饒かなるものであり、不安朝の太平な空氣、畫家と彫工、摺師の外國藝術の影響を多に依りてはぐくまれ、三拍手がそつて、々受けたのと事かは、

滿鮮旅信(三)

川崎小島

船には弱い方なので多少辟易せざるを得なかつたが汽車から直ぐにドテラ姿の儘で關釜聯絡船に乗り込んだ、汽車は三等だが汽船二等を奮發、ボーイが座布團を二枚並べて敷いてくれたのでゴロリ横になつて毛布を冠る、間もなく重苦しいドラの音が鳴り響いて、船は棧橋を離れ、夜の海を渡り初めた、税關検査も無事に済む

船客は大い寝鎮つたが丁度僕と頭合せに寢て居る、此男のイビキの音が容易ならぬ物凄さに加へて百日咳の子供が時々ムツがる、寢られない、閉口してボーイに席を變へて貰つたので樂々と安眠、夜明け頃眼を覺して甲板に出れば既に朝日を浴びた朝鮮の赤山が船の行く手に迫つて居る

奇妙に良くきくハリゲスリ
不思議膏
神経痛、かたのこり
うちみ、くちき、リ
ウマチス、齒痛
ハツテ御覽なさい
驚くばかり特効あり
特約店
小野屋藥店
平町四丁目
電話一四四四

貨切の！
御用命は……
三十二年式モダン型
ランドーセダンの
磐城タクシーへ
電五六六九

最も新らしき柄の
銘仙とモスリン着尺
優秀特選
春の帯側
いづれも新品豊富に取揃へました
是非御覽下し
三井吳服店

故翁の足跡を忍びて

浅野紀念館を建つ

△紀念事業費を基に △磐城炭礦の計畫!

石城郡内郷村磐城炭礦では、兼て故浅野前社長が築いた大きな足跡を永遠に紀念すべく、全山から紀念事業費の寄附を募集中であつたが、年俸の高級社員は勿論、

日給の労働者に至るまで喜んで出金し去る三日まで既に三千八百余圓の巨額に達し今後各方面からの寄附がある模様で之が使途に就き近く協議會を開いて決定する筈であるが早くも社員間には専ら紀念館の建設が唱へられ一部には紀念碑との説があるが現在同會社における集會場は漸やく二百名内外を收容するに過ぎないからこの際

二三千名を一度に集合するやうな「浅野紀念館」を建て故翁の功績を永久に偲ぶよすがとして後世へ残したいといふ聲が有力になりつつあるので協議會にも種々と議論が出るであらうが只紀念館説に問題となるのはその敷地を何處に求めるか敷地の問題が確定すれば懸て常磐炭田の煤煙畑の中に堂々と聳り立つ「浅野紀念館」が建設され美しい労働協調の發露として故翁の足跡が永久に紀念されることになるだらうと

出來心に

石城郡平町生れ、門馬與市(三)は福島市早稲田福陽舎の雇人として奉公中去年三

人口動態

平町における二月中の人口動態を調べると出生は八十八名で昨年の同期に比し七名の増加、死亡者は三十八名、婚姻数は十三組で昨年

飢餓線上を

昨日は東今日は西とさまざまはたらき青年に居ないことが判明したので仕方なく今度は父の遠縁にあたる茨城縣勢郡岡山村に戻らうとしたが持つて居た金は全部費消し全く無一文となつたので途方に暮れた彼は仙臺からトボトボと歩き出したが途中飢えと寒さに、行き倒れ中村署の同情で平町までの旅費を受け辛うじて此處に辿り着いたのであると申立てたので同署でも之に同情して若干の金を與へて歸らしめた

四日午後八時頃平署の受付へみすばらしい装の青年が訪れて保護を願ひ出た爲め宿直の係員が事情を聞くとい失業して幾日飢餓線上に彷徨した一編の物語り——男は東京府下三河島町無職(三)とて同町の某製鐵工場に

職工として働いて居る内昨年未御多分にもれず不景氣で解雇され家にぶらぶらとして遊んで居る内繼母との折合が悪く毎日口論がたえぬ爲め去月二十四日仙臺に居る知人をたよつて断然家を出てしまつたが翌二十四日知人の門を叩いた處頼みに思ふ



明日の天気 報像氣天 今晩も明日も北西の風晴れ

前七、〇〇 ラヂオ体操 前九、〇〇 氣象通報 前九、一〇 料理献立「牡蠣と野菜のソース和へ」 菊田博子發表 日用品値

前二、〇〇 經濟市況 正午 時報 後〇、〇五 講演「神崎與五郎」清草舎英昌 後〇、四〇 全國ニュース 氣象通報 告知事項

學第七講 山岸光宣 後二、三〇 經濟市況 後三、〇〇 氣象通報 後三、五〇 經濟市況 後四、〇〇 全國ニュース 後五、三〇 經濟市況 後五、四五 今晚の番組 後六、〇〇 (子供の時間) 唱歌と童謡「文部省唱歌 尤外五曲」 J O A K 唱

後七、二五 講演「時勢と産業組合」岡田良平 後八、〇〇 人情斷「猫いらす」柳亭左樂 後八、三〇 詩吟「幽囚詩 其他」木村岳風 後八、五〇 室内樂「クロイツァーソナタ」ベートーヴェン作曲 ヴァイオリン安藤幸子 ピアノレオンロタ 後九、三〇 ニュース「日本恭院春期東西大手蹶蹟 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組告知事項

豊間青年總會 豊間村青年團では来る八日午後一時から同村小學校において總會を開き講師を磐中八谷教官に決定

川前木炭品評 石城郡川前村では来る十九、二十日の兩日同隣前木炭倉庫内で木炭品評會を開催する

四倉養雞講話 四倉町養雞講話會は九日午前九時から同町小學校講堂に開催講師は縣地方林技師城島邦夫氏である

平町人事 出生 新屋町五小泉民三氏三女ミキ子 △四丁目三十三 佐藤正太郎氏長女 英子 婚姻 △鎌町一八 渡邊勇治(四三)入道 野村上根八八 小澤ヨト(四四)

笠間神社へ 大洗神社や 虚空藏尊も 来る三月二十六日に平町商工團では来る三月二十六日笠間神社へ参拜することになり目下團體集集中

四倉青年團 映畫會開催 四ツ倉町青年團では基本金を備へるため八日夜同町海盛座に活動寫眞大會を開催すると

山田料理店關根サトヨ(四)と内縁の關係を結び今年七才になる小供までもうけた仲であつたが一月二十八日同家女中の山形縣西置玉郡龜岡村生れ近野クニエ(三五)及び伊達郡小國村生れ伊藤ヨシ(九)と手に手をとつて逃走行衛を晦ましたが最近平町附近に料理店を經營してゐるといふ風のためよりがあるので前記サトヨからどうぞお捜しなすつて下さい

市原醫院 平町田町(電話一一四番) 内科、小兒科 市原卯太郎 外科一般、婦人科 市原陸郎 外科、梅毒、淋毒 市原三三男 入院隨時

水溫む 家出人のふえる頃 手に手をとつた駈落と 子供を連れられた内縁の妻 搜索願が提出された 福島市北町五十二生れ柳沼千代雄(三)は田村郡芦澤村

十町歩焼失 磐崎公有林 石城郡磐崎村大字上湯長谷湯ノ嶽地内公有林から三日

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

磐城土産
鯉節と
鹽から
配達敏速



魚問屋

最優最 平賀志
大代理 日盛目
本店 盛電
命生本 榮番
三一二

風邪

一回僅カ三錢
試用分二十錢
六十錢。一圓

私共ではだれでもそれをひきません。全く浴精サルバスの爲です

モリタヤ洋品店
5丁目電 353

女捕物 おぼえ

東京橋場刺
米田安藏



お千代も少しの疑念が生じた。三河屋の銅鑼屋の娘……と、おぼえは、お千代を女と侮り、口で丸める算段らしいのは、おぼえは、お千代は却つて其處を付け目にして「マア聞いてだけは上げると言つたぢやないか、身投げの女を助けた始末から、スツと並べて見るが好い、胸に落ちたら江戸迄引いて行くでもあるまいよ」と女らしく出る。

「アッ成程分つた御新造だ、え、お千代を申上げます」とおぼえは、其話によると、お千代は、おぼえの胸に落ちて、お千代は、おぼえの胸に落ちて、お千代は、おぼえの胸に落ちて……

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

質物一般

三井質店

平町四丁目南川岸通り
電話六〇六番

外科 X光線科

性病科
外科科

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

貫つて重寶
贈つて便利な

三井の券品商

店服吳井三

て總は命用御の物刷印

番〇三六話電 會社刷印日每警常

寒い〜北海道で出来る靈藥
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥

松前公御典醫之秘法 靈効散

胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾、の方は是非御試し下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますから御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治の目的を達します、効き目が効能書以上でアイフの三分の一安價で効はアイフ以上値段が安いものですから實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き無効の時返金致します 定價は八日分五十錢です

平町古鍛冶町(電話四四番)

靈効散

阿康藥舖

地方代理店

靈供 枢花 自葬 動祭 車具

御用 造花

生きくした

町川新平
屋本橋

番三六一話電

前戸江 季節

鳥料理 かば焼は 寄なべ

今が一番美味しいときです……

平館隣り

出前迅速 魚 榮

電話四二四番